令和5年度　第2学年　社会科　歴史的分野　年間指導計画

担当:町田明良

学期	項目 （◎ 学習課題）	学習内容・ 学習活動	指導上の留意点	評価規準の具体例 ①＝知識・技能　②＝思考・判断・表現 ③＝主体的に学習に取り組む態度
第2部　歴史の大きな流れと時代の移り変わり				
	第3章　近世　武家政権の展開と世界の動き ■章の問い■　全国を統一する安定した政権を成立させたものは何か。	**＜第2部第3章のねらい＞** ①ヨーロッパ人来航の背景とその影響，織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係，武将や豪商などの生活文化の展開などを基に，近世社会の基礎がつくられたことを理解させる。 ①江戸幕府の成立と大名統制，身分制と農村の様子，鎖国などの幕府の対外政策と対外関係などを基に，幕府と藩による支配が確立したことを理解させる。 ①産業や交通の発達，教育の普及と文化の広がりなどを基に，町人文化が都市を中心に形成されたことや，各地方の生活文化が生まれたことを理解させる。 ①社会の変動や欧米諸国の接近，幕府の政治改革，新しい学問・思想の動きなどを基に，幕府の政治が次第に行き詰まりをみせたことを理解させる。 ②交易の広がりとその影響，統一政権の諸政策の目的，産業の発達と文化の担い手の変化，社会の変化と幕府の政策の変化などに着目して，事象を相互に関連付けるなどして，近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現させる。 ②近世の日本を大観して，時代の特色を多面的・多角的に考察し，表現させる。 ③近世の日本について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究させる。		**＜第2部第3章の評価規準＞** ①ヨーロッパ人来航の背景とその影響，織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係，武将や豪商などの生活文化の展開などを基に，近世社会の基礎がつくられたことを理解している。 ①江戸幕府の成立と大名統制，身分制と農村の様子，鎖国などの幕府の対外政策と対外関係などを基に，幕府と藩による支配が確立したことを理解している。 ①産業や交通の発達，教育の普及と文化の広がりなどを基に，町人文化が都市を中心に形成されたことや，各地方の生活文化が生まれたことを理解している。 ①社会の変動や欧米諸国の接近，幕府の政治改革，新しい学問・思想の動きなどを基に，幕府の政治が次第に行き詰まりをみせたことを理解している。 ②交易の広がりとその影響，統一政権の諸政策の目的，産業の発達と文化の担い手の変化，社会の変化と幕府の政策の変化などに着目して，事象を相互に関連付けるなどして，近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現している。 ②近世の日本を大観して，時代の特色を多面的・多角的に考察し，表現している。 ③近世の日本について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
	第1節　大航海によって結び付く世界 ◇節の問い◇　ヨーロッパの国々は，なぜ世界に進出したのだろうか。	＜「世界の動きと統一事業」を扱うこの単元のねらい＞ 〇ポルトガルやスペインによる新航路の開拓や宗教改革によるキリスト教世界の動きにともなって，鉄砲やキリスト教が伝来して南蛮貿易がさかんになり，それらが日本の社会に影響を及ぼし，近世社会の基礎がつくられたことを理解させる。 〇新航路の開拓の背景となるアジアの交易の状況やムスリム商人などの役割と世界の結びつきに気付かせる。		**＜「世界の動きと統一事業」を扱うこの単元の評価規準＞** ①ヨーロッパ人来航の背景とその影響をもとに，近世社会の基礎がつくられたことを理解しているとともに，諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。 ②交易の広がりとその影響に着目して，アジアにヨーロッパが進出する中で，世界の交易の空間的な広がりが生み出され，日本とヨーロッパ諸国の接触が起こったことや，日本の政治や文化に与えた影響を考察するなど，事象を相互に関連付けるなどして，近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現している。 ③世界の動きについて，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
2年1学期学期	**1 ヨーロッパの変革** ◎キリスト教に基づいたヨーロッパの文化や社会は，イスラム商人との交流により，どのように変化していったのだろうか。	イスラム勢力の広がりによって，キリスト教中心のヨーロッパはどのように変化したのか，十字軍やルネサンスをもとにして考える。	・ヨーロッパにおけるローマ教皇の権威の移り変わりに目を向けさせることで，歴史を大観するうえで欠かせない十字軍やルネサンス，宗教改革という重要な出来事があることに気付かせる。	①11世紀から16世紀にかけて起こったヨーロッパのおもな出来事や，イスラム商人を経てヨーロッパに伝わり，その後のヨーロッパの文化や科学・技術に大きな影響を与えたもの（天文学，羅針盤，火薬），ヨーロッパで発明されたり（活版印刷術），発達したりしたもの（新しい戦術や長距離の航海術）をいくつかあげて，表などで適切にまとめ，理解している。 ②16世紀にキリスト教のカトリック教会に見られた変化をもとに「信仰の見直し」について考察し，宗教改革が起こった理由やカトリック教会の中でも改革が進められた理由を適切に表現している。
2年3学期	**2 大航海時代の幕開け** ◎ヨーロッパの人々の進出によって，世界はどのように変化したのだろうか。	新航路を開拓したヨーロッパの国々によって，世界はどのように変化したのか，地図などの資料をもとに考え，ヨーロッパとアジアや南北アメリカとの関係を図でまとめる。	・アジアで交易が活発に行われていたことや，イスラム商人がアジアとヨーロッパを結びつける役割を果たしていたことに気付かせる。 ・南北アメリカ大陸の作物（じゃがいも，とうもろこし，トマト，かぼちゃなど）が世界に伝わったことにふれて，大航海時代の幕あけを「一つに結びつく世界」という視点から扱い，それまでの歴史との大きな違いに気付かせる。	①大航海時代におけるヨーロッパとアジア，南北アメリカとの関係を図に示して適切にまとめ，理解している。 ①スペイン人がアフリカの人々を奴隷としてアメリカに連れて行った理由について，アメリカで行われていた産業に注目して理解している。 ②ポルトガルやスペインがアジアを目指した理由について，交易（香辛料や絹織物を手に入れるため）と布教（キリスト教を広めるため）という２つの面から考察し，適切に表現している。 ②ヨーロッパによる新航路の開拓がアフリカやアメリカ，アジアに与えた影響についてさまざまな面から考察し，適切に表現している。

2年3学期	**3 東アジアの貿易と南蛮人** **◎ヨーロッパの海外進出によって，日本の社会はどのような影響を受けたのだろうか。** **◇節の問いを振り返ろう◇** **ヨーロッパの国々が進出した地域では，どのような変化が起こったのか，「貿易」と「キリスト教」という言葉を使って説明してみよう。**	ヨーロッパとの貿易や交流は，戦国時代の日本にどのような影響を与えたのか，鉄砲とキリスト教に着目して考える。 ◇各地域の経済と文化がどのように変化したかを確認させる。	・琉球の貿易船が活躍する東アジア，東南アジアの中継貿易に，ポルトガルやスペイン，オランダが加わるという図式で理解させる。 ◇前時の学習と日本での変化もふまえ，日本独自の動きに着目して考えさせる。	①鉄砲が日本に受け入れられて全国に普及していった経緯や，南蛮貿易がさかんになっていったことについて理解している。 ②キリシタンが増加した理由と，キリシタン大名になる者がいた理由について，当時の社会の具体的な状況にもとづいて考察し，「鉄砲」という語も用いて適切に表現している。
第2節　戦乱から全国統一へ **◇節の問い◇　全国統一が進むなかで社会はどのように変化したのだろう。**		＜「世界の動きと統一事業」を扱うこの単元のねらい＞ 〇織田信長が行った仏教勢力への圧迫や関所の撤廃，豊臣秀吉が行った検地・刀狩などの政策によって，中世の大きな勢力が力を失ったことや，中世までとは異なる社会が生まれていったことなどの大きな変化に気付かせる。 〇当時の対外関係として，東南アジアなどとの積極的な貿易，キリスト教への対応，朝鮮への出兵などがあったことを取り上げる。 〇南蛮文化が取り入れられる一方，生活に根ざした文化が広がり，武将や豪商の気風や経済力を背景とした豪華・華麗な文化が生み出されたことに気付かせる。	**＜「世界の動きと統一事業」を扱うこの単元の評価規準＞** ①織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係，武将や豪商などの生活文化の展開などをもとに，近世社会の基礎がつくられたことを理解しているとともに，諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。 ②統一政権の諸政策の目的に着目して，中世社会から近世社会への変化が生み出され，日本の政治や文化に与えた影響を考察するなど，事象を相互に関連付けるなどして，近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現している。 ③統一事業について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
2年3学期	**タイムトラベル⑦** **安土桃山時代を眺めてみよう** 16世紀ごろのある場面	安土桃山時代の町づくりが行われているようすをえがいた想像図を見て，鎌倉・室町時代と比べて，どのような点が変化し，どのような共通点があったのかを読み取り，疑問があれば追究すべき課題（生徒自身の「単元を貫く問い」）を設定する。	・中世と近世という時代を大きくとらえさせるために，鎌倉時代の農村をようすをえがいた『タイムトラベル⑤』との比較も行う。 ・「僧侶が武器を持っていたのはなぜか」「巨大な石はどこからどのような工夫をして運ばれてきたのか」「なぜ新しい升が必要なのか」「人々の身分はどのように変化したのか」などの追究課題が考えられる。	①小学校の学習をふまえて，鎌倉・室町時代と安土桃山時代の共通点や違いについて，武器を持っている人々などに注目し，適切なことがらを読み取っている。 ②交易だけなく，キリスト教の布教など文化的な交流も行われていたこと，刀狩や検地によって，武士の政権による統制が広く人々の生活に影響を与えていることなど，鎌倉・室町時代と安土桃山時代の共通点や相違点を考察し，写真資料などをもとに適切に表現している。 【章の学習を振り返ろう】(58時限)の「タイムトラベルを眺め直そう！」の場面で ②『タイムトラベル⑧』なども参考にしながら，想像図にえがかれているさまざまなことがらをもとにして，近世の時代の特色を自分の言葉で適切に表現している。
2年3学期	**1 信長・秀吉による全国統一** **◎戦国大名は，どのようにして全国統一を進めたのだろうか。**	織田信長は，どのようにして全国を統一していったのか，絵画資料や地図，法令などの資料をもとに読み取る。	・小学校の学習をふまえて，戦乱に勝利したことは導入で短時間で確認し，経済に関する政策など，中世社会とは異なる新しい社会が生まれることになる具体的な変化に注目させる。	①戦国時代はどのようにして終わったのか，織田信長と豊臣秀吉が全国統一を果たしていった経緯をもとに理解している。 ②織田信長の政策が日本の社会をどのように変えたかについて，政治面，社会面，経済面のそれぞれから具体的な事例（足利義昭を京都から追放して室町幕府を滅亡させたこと，敵対する仏教勢力に対抗し，貿易の利益を得るためにキリスト教を保護したこと，関所を廃止したり，楽市・楽座を行ったりしたこと）をもとに考察し，中世社会と異なっていることを適切に表現している。
2年3学期	**2 秀吉が導いた近世社会** **◎秀吉は，国内と海外に対してどのような政策を行ったのだろうか。**	豊臣秀吉が国内と海外に対して行った政策は，どのような影響を残したのか，絵画資料や地図，法令などの資料をもとに考える。	・検地と刀狩によって社会はどのように変化したかを考えさせる。 ・対外政策では，キリスト教への対応や朝鮮出兵に注目させる。	①秀吉による朝鮮出兵が，朝鮮各地の人々はもちろん，日本の武士や民衆にも多くの犠牲や負担を強いたことで，豊臣氏の支配が弱まる原因となったことを理解している。 ②検地と刀狩によって社会がどのように変化したかを考察し，中世までとは異なる社会（農民らが武装して自らの力で紛争を解決することが否定されたこと，石高に応じた年貢を納めることを義務づけられたこと，身分制に基づく社会の土台がつくられたこと）がつくられたことを，「兵農分離」という語を用いて適切に表現している。 ②豊臣秀吉がキリスト教を禁止した理由と，それが徹底できなかった理由について，ポルトガルやスペインによる布教や海外貿易の目的などの面から考察し，適切に表現している。
2年1学期学期	**3 戦国大名と豪商が担った桃山文化** **◎安土桃山時代には，どのような特色を持った文化が展開したのだろうか。** **◇節の問いを振り返ろう◇** **信長と秀吉による全国統一政策により，日本の社会はどのように変わったか，中世の社会の特色と比較して説明しよう。**	織田信長や豊臣秀吉が登場した時代には，どのような特色をもった文化が展開したのか，文化を生み出した担い手の考えを中心に調べてまとめる。 ◇人々の生活や経済の変化に注目させる。	・戦いの拠点だった城の変化（山城から平山城，平城へ）に注目させ，城に残された文化財とその特徴を考えさせる。 ◇前時までの学習をふまえ，文化の面など中世社会からの変化に着目して考えさせる。	①織田信長や豊臣秀吉が支配したころ（安土桃山時代）に海外から伝わった技術や文化（鉄砲，天文学，航海術，医学，活版印刷技術，陶磁器づくりの技術など）を三つ以上あげて，表を用いてその特徴を適切にまとめ，理解している。 ②安土桃山文化が壮大で豪華な文化であった理由を，時代の変化や文化の担い手（新しい時代を切り拓いた気風や経済力をもった戦国大名や豪商）などに着目して考察し，適切に表現している。

第3節　武士による全国支配の完成 ◇節の問い◇　江戸幕府はどのようにして全国を支配したのだろう。		＜「江戸幕府の成立と対外関係」を扱うこの単元のねらい＞ ○江戸幕府の支配の下に大きな戦乱のない時期を迎えたことなど，中世から近世への転換のようすを，中世の武家政治との違いに着目して考察させ，自分の言葉で表現させる。 ○江戸幕府の成立と大名統制については，幕府が大名を統制するとともに，その領内の政治の責任を大名に負わせたことに気付かせる。		**＜「江戸幕府の成立と対外関係」を扱うこの単元の評価規準＞** ①江戸幕府の成立と大名統制，鎖国などの幕府の対外政策と対外関係をもとに，幕府と藩による支配が確立したことを理解しているとともに，諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。 ②統一政権の諸政策の目的に着目して，江戸幕府により全国を支配するしくみが作られ，安定した社会が構築されたことを考察するなど，事象を相互に関連付けるなどして，近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現している。 ③江戸幕府の成立と対外関係について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
2年3学期	**1 幕藩体制の始まり** ◎江戸幕府は大名や朝廷を統制するために，どのようなしくみをつくったのだろうか。	江戸幕府は大名や朝廷を統制するために，どのようなしくみをつくったのか，文章や資料から読み取る。	・大名配置図から，幕府が親藩・譜代大名・外様大名をどのように配置したかを読み取らせ，そのねらいを考えさせる。 ・参勤交代は，藩から江戸まで移動するのにかかる人件費などだけでなく，江戸で生活するための費用の負担が重かったことにも気付かせる。	①江戸幕府が大名や朝廷を統制するために行ったおもな政策（武家諸法度や禁中並公家諸法度の制定，参勤交代制度の整備，御手伝普請，京都所司代の設置）を三つあげ，それぞれのねらいと効果にもふれながら，適切にまとめ，理解している。 ②幕藩体制とはどのような体制か，武家諸法度などに基づく将軍と大名の関係や，幕府が藩に独自の統治を認めたことなどをふまえてさまざまな面から考察し，適切に表現している。
2年3学期	**2 朱印船貿易から貿易統制へ** ◎江戸幕府は，盛んになっていた貿易やキリスト教の布教に，どのように対処していったのだろうか。	江戸幕府の外交・貿易政策は，国内政策との関係で，どのように変化したのか，年表などから読み取ったり考えたりする。	・ポルトガル船の来航を禁止できたのは，オランダによるアジアでの貿易が活発になり，ポルトガルにたよらなくても利益が上げられるようになったことが背景にあることも予想させられるとよい。	①キリスト教の禁止と貿易統制までの流れについて，教科書の年表や本文からおもなことがらを読み取り，流れ図などで適切にまとめ，理解している。 ②大きな利益が得られる朱印船貿易が停止された理由を，キリスト教の禁止の徹底などの面から考察し，適切に表現している。
2年3学期	**3 四つに絞られた貿易の窓口** ◎幕府は，貿易についてどのような政策をとり，どこを窓口としたのだろうか。	幕府は，四つの窓口を通して世界とどのようにつながっていたのか，地図でそれぞれの窓口を確認しながらまとめる。	・次時の学習と合わせて，「四つの窓口」の場所，貿易を行っていた藩，貿易の相手，おもな貿易品がまとめられるような表または図をつくらせる。	①貿易の四つの窓口を表や図でまとめ，オランダと清，朝鮮，蝦夷地への窓口の場所と貿易などの関係を理解している。 ②日本と貿易するヨーロッパの国がオランダだけとなった理由を，キリスト教の禁止の面から考察し，適切に表現している。 ②幕府が世界とつながる窓口を限定したことにはどのような利点があるかを考察し，利益や情報の独占という点に注目して，適切に表現している。
2年3学期	**4 琉球王国とアイヌの人々への支配** ◎琉球王国とアイヌの人々は，薩摩藩や松前藩とどのような関係にあっただろうか。 ◇節の問いを振り返ろう◇ 江戸幕府が安定した全国支配ができた理由を，統治のしくみと関係させて説明してみよう。 **歴史を探ろう** 琉球とアイヌの人々の暮らし	琉球王国とアイヌの人々は，薩摩藩や松前藩とどのような関係にあったのか，絵画資料などから読み取り，江戸時代になってどのように変化したのかを説明する。 ◇江戸幕府が行った国内と国外の政策をそれぞれ確認させる。	・琉球とアイヌの人々の独自の文化に気付かせる。 ・昆布や蝦夷錦が伝わった経路などを確認させ，琉球とアイヌの人々が，東アジア一帯の交易ネットワークで大きな役割を担っていたことに気付かせる。 ◇外国や琉球とアイヌの人々とどのような関係をもったのかに着目して考えさせる。	①琉球王国と薩摩藩，アイヌの人々と松前藩の交易品を，図を用いて適切にまとめ，理解している。 ②琉球王国とアイヌの人々の生活が，江戸時代になってどのように変化したのか，薩摩藩や松前藩との関係にふれながら考察し，適切に表現している。
第4節　天下泰平の世の中 ◇節の問い◇　江戸時代の社会は，どのような社会だったのだろうか。		＜「産業の発達と町人文化」などを扱うこの単元のねらい＞ ○身分制のもとで，人々はそれぞれの身分の中で職分を果たしたこと，農村が幕府や藩の経済を支えていたことなどに気付かせる。 ○農林水産業や手工業，商業などの産業や河川・海上交通，街道が発達したことについて，身近な地域の特徴を生かした事例を選んで理解させる。 ○藩校や寺子屋などの普及に着目して，人々の教育への関心の高まりに気付かせるとともに，学問・芸術・芸能などの地域的な広まりに着目して，文化の社会的な基盤が拡大したことを理解させる。 ○近世の文化について，大阪・京都・江戸などの都市を舞台に，経済力を高めた町人を担い手とする文化が形成されたことなどを理解させる。		**＜「産業の発達と町人文化」などを扱うこの単元の評価規準＞** ①身分制と農村のようすをもとに，幕府と藩による支配が確立したこと，産業や交通の発達，教育の普及と文化の広がりをもとに，町人文化が都市を中心に形成されたことや，各地方の生活文化が生まれたことを理解しているとともに，諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。 ②統一政権の諸政策の目的に着目して，江戸幕府により全国を支配するしくみが作られ，都市や農村における生活や変化し，安定した社会が構築されたことを考察したり，産業の発達と文化の担い手の変化に着目して，都市を中心とした経済が形成されていく中で，日本の文化の空間的な広がりが生み出され，それを背景として各地方の生活文化が生まれたことや，生産技術の向上や交通の整備と町人文化の特徴を考察したりするなど，事象を相互に関連付けるなどして，近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現している。 ③産業の発達と町人文化などについて，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。

2年1学期	**タイムトラベル⑧** **江戸時代を眺めてみよう** 17～18世紀ごろのある場面	江戸時代のある街道沿いの農村のようすをえがいた想像図を見て，安土桃山時代と比べて，どのような点が変化し，どのような共通点があったのかを読み取り，疑問があれば追究すべき課題（生徒自身の「単元を貫く問い」）を設定する。	・「次の場面を探してみよう！」の課題の他，武士の屋敷の周辺の様子に注目させ，平安時代の貴族の屋敷との共通点（農地に囲まれていること）にも気付かせる。 ・「武士の屋敷に運ばれる品物はどこから来るのか」「武士の屋敷で子どもが読んでいる本はどんな内容なのか」「僧侶はどんな教えを説いているのか」「神社をつくったのはだれか」などの追究課題が考えられる。	①江戸時代と安土桃山時代の農村の違いについて，田畑のようすや人々の役割などに注目し，適切なことがらを読み取っている。 ②碁盤目状の道路という平城京や平安京などの都に共通する特色，日本風で色彩が豊かになっている貴族などの服装の変化など，奈良時代と平安時代の共通点や相違点を考察し，写真資料などをもとに適切に表現している。 【章の学習を振り返ろう】(58時限)の「タイムトラベルを眺め直そう！」の場面で ①百姓の成長を示していると考えられる場面を適切に読み取っている。 ②『タイムトラベル⑦』なども参考にしながら，想像図にえがかれているさまざまなことがらをもとにして，近世の時代の特色を自分の言葉で適切に表現している。
2年3学期	**1 身分制の下での暮らし** ◎江戸時代の身分制とは，どのようなしくみなのだろうか。	江戸時代の人々は，身分制社会の下でどのような暮らしをしていたのか，文章や資料などから読み取ってまとめる。	・身分上の差別は非合理なものであり，支配者に都合よく利用されたものであることに気付かせる。また，身分間の違いだけでなく，同じ身分の中にも大きな格差があったことにも気付かせる。 ・朱子学の考え方のもとで，男尊女卑の風潮が社会に根づいていったことに気付かせる。	①武士，百姓，町人の暮らし，自治に携わった役職，権利などについて，表などで適切にまとめ，理解している。 ①朱子学とはどのような考えを基本とするもので，徳川綱吉がなぜこれを重視したのかを，綱吉がめざした政治（武力ではなく学問や礼節を重んじる文治政治）との関係から理解している。 ②江戸幕府の政治が文治政治へと転換した理由とその影響について，社会の変化に着目して考察し，適切に表現している。
2年3学期	**2 安定する社会と諸産業の発達** ◎江戸時代の国内産業は，どのように発達していったのだろうか。	江戸時代の国内産業は，どのように発達していったのか，絵画資料や地図などから読み取ってまとめる。	・身近な地域で行われた新田開発や代表的な特産物を取りあげ，関心を高めさせる。	①幕府・大名や農民が米の生産量を増やすために行ったこと（新田開発，効率のよい農具の使用や栄養価の高い肥料の使用など）を，適切に読み取り，理解している。 ②江戸時代に各地で特産物の生産がさかんになった理由について，貿易統制と関連づけて考察し，日用品の国産化の動きなどについて適切に表現している。
2年3学期	**3 各地を結ぶ陸の道・海の道** ◎交通網の整備は，都市や産業の発達にどのような影響を与えただろうか。 **歴史を探ろう** 昆布ロードと北前船	交通網の整備は，都市や産業の発達にどのような影響を与えたのか，三都を中心とした都市の成長などをふまえながら考える。	・陸路の街道に橋がかけられていなかったことなどから，商品の輸送に陸上交通は不向きであること，船の輸送は海上だけでなく河川も使われていたことに気付かせる。 ・経済面で武士を圧倒する商人が現れた理由を考えさせる。	①江戸時代のおもな街道と航路の名称とルート，「三都」の名称とそれぞれの特色を理解している。 ②大阪が商業の中心として発達した理由を，交通網の整備や江戸との関係，諸藩の蔵屋敷がおかれたことなどにふれて考察し，適切に表現している。
2年3学期	**4 上方で栄えた町人の元禄文化** ◎江戸時代前半にはどのような特色をもった文化が展開したのだろうか。 ◇節の問いを振り返ろう◇ 社会が安定した結果，人々の生活や産業はどのように変化したか，説明する。	江戸時代前半にはどのような特色をもった文化が展開したのか，文化を生み出した担い手の考えを中心に調べてまとめる。 ◇産業の発達と都市の繁栄が与えた影響を確認させる。	・現代に続く年中行事が生まれた背景に気付かせるとともに，身近な地域で行われている年中行事の起源や行事の具体的な内容を調べさせる。 ◇文化の担い手に着目させる。	①江戸時代前半のころに庶民が親しんだ文化を二つ以上あげ，それぞれ表などで適切にまとめ，理解している。 ②上方の町人が文化の担い手になった理由を，商業の発達や都市の繁栄などの面から考察し，適切に表現している。
第5節　社会の変化と幕府の対策 ◇節の問い◇　なぜ幕府は改革が必要だったのだろうか。		＜「幕府の政治の展開」を扱うこの単元のねらい＞ ○貨幣経済の農村への広がりや自然災害などによる都市や農村の変化などをふまえ，近世社会の基礎が動揺していったことに気付かせる。 ○外国船の接近とそれに対応した幕府による北方の調査や打払令などを取り上げる。 ○財政の悪化などを背景とした幕府の政治改革を取り上げ，百姓一揆などに結びつく農村の変化や商業の発達などへの対応というねらいがあったことに気付かせる。 ○蘭学や国学などの中に新しい時代を切り開く動きがみられたことに気付かせる。		**＜「幕府の政治の展開」を扱うこの単元の評価規準＞** ①社会の変動や欧米諸国の接近，幕府の政治改革，新しい学問・思想の動きなどをもとに，幕府の政治が次第に行き詰まりをみせたことを理解しているとともに，諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。 ②社会の変化と幕府の政策の変化に着目して，貨幣経済が農村に広がる中で経済的な格差が生み出され，それらの背景として百姓一揆がおこったことや，社会や経済の変化への対応としての諸改革の展開を考察するなど，事象を相互に関連付けるなどして，近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現している。 ③幕府政治の展開について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
2年3学期	**1 貨幣経済の広まり** ◎徳川吉宗はどのような改革を行ったのだろうか。	徳川吉宗はどのような改革を行ったのか，また，貨幣を使う機会が増え，農村ではどのような変化があったのか，文章やグラフなどの資料から読み取ったり，考えたりする。	・商業や手工業の発達が，農民の生活をどのように変えたか，農民の収入や支出の品目など具体的な生活をイメージさせながら考えさせる。	①徳川吉宗が財政の立て直しのために行った政策を文章から読み取り，成果や課題についても表などで適切にまとめ，理解している。 ②農村において格差が生まれるなどの変化が見られるようになった理由を，商品作物の生産がさかんになったことをふまえて考察し，「商品作物」「貨幣」の語を用いて適切に表現している。
2年3学期	**2 繰り返される要求と改革** ◎百姓の要求と財政難に対して，幕府はどのような対応を行ったのだろうか。	百姓の要求と財政難に対して，幕府はどのような対応を行ったのか，田沼意次と松平定信の政策のちがいに着目させて，表にまとめる。	・財政再建策を大きく二つに分けると，収入増と支出削減を進める方法があることに気付かせ，さまざまな政策はどちらにかかわりが深いかを考えながらまとめさせる。	①百姓一揆や打ちこわしがどのようなことを背景として起こり，何を要求した運動だったのかを理解している。 ②田沼意次と松平定信の政策の違いについて，田沼意次は商品の流通や生産活動から得られる利益を重視し，一方の松平定信は農村の立て直しを重視したことなどに着目して考察し，適切に表現している。

２年３学期	**３ 江戸の庶民が担った化政文化** **◎江戸時代後半には，どのような特色を持った文化が展開したのだろうか。** **◇節の問いを振り返ろう◇** **江戸時代後期に行われた幕府の諸改革は，どのような結果であったか，社会の変化と関連づけてそれぞれ説明してみよう。** **歴史を探ろう** 世界有数の百万都市 江戸	江戸時代後半には，どのような特色をもった文化が展開したのか，文化を生み出した担い手の考えを中心に調べてまとめる。 ◇幕府の改革はどのような内容だったか，確認させる。	・文化の中心が上方から江戸に移ったことに気付かせ，その理由を考えさせる。 ・庶民の教育がさかんになり，高い識字率を実現したことが，その後の近代産業が発展する原因の一つになったことに気付かせる。 ◇「質素や倹約」がねらい通りにいかなかったことに着目して考えさせる。	①小学校の学習をふまえて，国学や蘭学など，新しい学問の発達が社会に与えた影響について，表などで適切にまとめ，理解している。 ①幕末には文字を読める人の割合が高かった理由を，寺子屋などの普及をもとに理解している。 ②印刷技術が人々に与えた影響について，浮世絵の流行や地方にも文化が伝わったことなどに着目して考察し，適切に表現している。
２年３学期	**多面的･多角的に考えてみよう** 赤穂事件を考察する ー旧赤穂藩の浪士たちの処罰の行方	赤穂事件の概要と武家諸法度の方針が変更されていたことをふまえ，主君の仇討ちを果たした赤穂浪士を「忠義の義士」として許すか，「徒党」を組んだ罪で厳罰にするべきかを考える。	・助命する意見と厳罰にする意見とその根拠を整理し，当時の江戸の人々が赤穂浪士をたたえた理由を自分なりに考えた上で，将軍としてどのような判断を下すか考え，当時の資料に基づいた判断の根拠を明確にして説明する。 ・処罰には「打ち首」と「切腹」という方法があったことに気付かせる。	①資料をもとにして，旧赤穂藩の浪士たちが仇討ちを実行した理由や経緯，幕府が赤穂浪士に対して「切腹」という処罰を決定した理由を理解している。 ②赤穂浪士を助命すべきという主張と処罰すべきという主張の根拠をふまえ，当時の資料に基づいて将軍としてどのような判断を下すべきか考察し，根拠を明確にして適切に説明している。
２年３学期	**章の学習を振り返ろう** 武家政権の展開と世界の動き ■章の問い■　全国を統一する安定した政権を成立させたものは何か。	全国を統一するために織田・豊臣・江戸幕府が行った政策で共通する点に着目し，安定した政権が成立するために必要なことを考えて発表し，意見交換を行う。 近世とはどのような時代か，自分の言葉で表現したり，意見交換を行ったりする。	・中世の幕府政治との違い（比較），全国を統一するしくみの展開（推移），安定した支配と外国との関係を歴史的な見方・考え方として働かせるようにする。 ・政治が行きづまりを見せた理由にも着目させる。 ・近世とはどのような時代か，まずは短い言葉で特色を表現させ，歴史的な見方・考え方（時代や年代，推移，比較，相互の関連）を働かせて，そのように表現できる理由を説明させる。	①章の学習を振り返り，歴史的な見方・考え方を働かせて，安定した政権が成立するために必要なことを効果的にまとめている。 ②安定した政権が成立する条件に着目するなどして，近世の日本を大観し，時代の特色を多面的・多角的に考察し，適切に表現している。 ③近世の安定した政権に見られた諸問題について，現代のあり方と比較するなどして，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。

第4章　近代（前半）　近代国家の歩みと国際社会 **■章の問い■「近代化」による，政治や社会の大きな変化とは何か。**		**＜第2部第4章のねらい＞** ①欧米諸国における産業革命や市民革命，アジア諸国の動きなどを基に，欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解させる。 ①開国とその影響，富国強兵・殖産興業政策，文明開化の風潮などを基に，明治維新によって近代国家の基礎が整えられて，人々の生活が大きく変化したことを理解させる。 ①自由民権運動，大日本帝国憲法の制定，日清・日露戦争，条約改正などを基に，立憲制の国家が成立して議会政治が始まるとともに，我が国の国際的な地位が向上したことを理解させる。 ①我が国の産業革命，この時期の国民生活の変化，学問・教育・科学・芸術の発展などを基に，我が国で近代産業が発展し，近代文化が形成されたことを理解させる。 ②工業化の進展と政治や社会の変化，明治政府の諸改革の目的，議会政治や外交の展開，近代化がもたらした文化への影響，経済の変化の政治への影響，戦争に向かう時期の社会や生活の変化，世界の動きと我が国との関連などに着目して，事象を相互に関連付けるなどして，近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現させる。 ②近代前半の日本と世界を大観して，時代の特色を多面的・多角的に考察し，表現させる。 ③近代前半の日本と世界について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究させる。		**＜第2部第4章の評価規準＞** ①欧米諸国における産業革命や市民革命，アジア諸国の動きなどを基に，欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解している。 ①開国とその影響，富国強兵・殖産興業政策，文明開化の風潮などを基に，明治維新によって近代国家の基礎が整えられて，人々の生活が大きく変化したことを理解している。 ①自由民権運動，大日本帝国憲法の制定，日清・日露戦争，条約改正などを基に，立憲制の国家が成立して議会政治が始まるとともに，我が国の国際的な地位が向上したことを理解している。 ①我が国の産業革命，この時期の国民生活の変化，学問・教育・科学・芸術の発展などを基に，我が国で近代産業が発展し，近代文化が形成されたことを理解している。 ②工業化の進展と政治や社会の変化，明治政府の諸改革の目的，議会政治や外交の展開，近代化がもたらした文化への影響，経済の変化の政治への影響，世界の動きと我が国との関連などに着目して，事象を相互に関連付けるなどして，近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現している。 ②近代前半の日本と世界を大観して，時代の特色を多面的・多角的に考察し，表現している。 ③近代前半の日本と世界について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
第１節　欧米諸国における「近代化」 **◇節の問い◇「近代化」の進展で，欧米諸国の政治や社会はどのように変化したのだろうか。**		＜「欧米における近代社会の成立とアジア諸国の動き」を扱うこの単元のねらい＞ ○政治体制の変化や人権思想の発達や広がり，現代の政治とのつながりなどと関連づけて，アメリカの独立やフランス革命を取り上げ，政治的な対立と社会の混乱，そこで生じた犠牲などを経て近代民主政治への動きが生まれたことに気付かせる。 ○工業化による社会の変化という観点から，イギリスなどにおける産業革命を取りあげ，資本主義社会が成立したことや労働問題・社会問題が発生したことに気付かせる。 ○産業革命の進展にともなって，欧米諸国が新たな工業製品の市場や工業原料の供給地を求めてアジアへの進出を強めたことを理解させる。		**＜「欧米における近代社会の成立とアジア諸国の動き」を扱うこの単元の評価規準＞** ①欧米諸国における市民革命や産業革命をもとに，欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへの進出したことを理解しているとともに，諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。 ②工業化の進展と政治や社会の変化に着目して，近代化の進展により欧米諸国の政治や社会がどのように変化したかを考察するなど，事象を相互に関連付けるなどして，近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現している。 ③欧米における近代社会の成立について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
２年３学期	**１ 市民革命の始まり** **◎イギリスでの革命や，アメリカでの独立運動によって，政治のあり方はどのように変化したのだろうか。**	イギリスでの革命や，アメリカの独立戦争によって成立した政治体制とはどのようなものか，資料などから読み取り，表にまとめる。	・「市民革命」の「市民」とは，王などによって支配される側にいた人々のことを指すことを確認しておく。 ・「国王」「市民」「法」「主権者」「議会」などのキーワードを用いて，「近代化」の意味を説明できるようにさせる。 ・イギリスでのピューリタン革命やアメリカ独立戦争が起こった共通のきっかけとして，税に対する反発があったことに気付かせる。	①イギリスとアメリカに成立した政治体制を，成立までの経緯をふまえて，表などで適切にまとめ，理解している。 ①君主政治と民主政治の違いを文章や図をもとに読み取り，立憲君主政の特色について理解している。 ②「近代化」とはどのような変化のことか，政治の面から考察し，「法」という言葉を用いて適切に表現している。
２年３学期	**２ 人権思想からフランス革命へ** **◎フランス革命によって，政治や社会はどのように変化したのだろうか。**	フランス革命によって，社会はどのように変化したのか，啓蒙思想を示す資料や『人権宣言』などから読み取る。	・18世紀におけるフランス社会が，三つの身分で構成される社会であったこと，人口の９割以上をしめた第三身分（平民）は，免税特権のある第一身分（聖職者），第二身分（貴族）を支えるための重税に苦しんでいたことを，風刺画も活用して確認しておく。	①『人権宣言』で主張されたことを確認したうえで，フランス革命前後の税の負担を表した風刺画を適切に読み取り，社会がどのように変化したのかを理解している。 ②フランス革命がその後のヨーロッパに与えた影響や，18世紀のフランスが当時の日本と同じような身分制社会であり，アメリカの独立からフランス革命に受け継がれた自由・平等の考え方が，明治以後の日本にも大きな影響を与えるようになったことについて考察し，適切に表現している。

2年3学期	**3 産業革命と資本主義の成立** **◎産業革命によって，社会はどのように変化し，また，どのような考え方が生まれたのだろうか。**	産業革命によって，社会はどのように変化し，またどのような考え方が生まれたのか，絵画資料などをもとに読み取る。	・産業革命によって生まれた工業中心の社会の良い面と課題の両面に気付かせる。 ・資本主義と社会主義の違いを表などでまとめて理解させておき，世界恐慌時や第二次世界大戦後の世界の動きを説明させるときに知識が活用できるようにする。	①産業革命のときに利用されるようなった蒸気機関によって，生産力や輸送能力が大きく向上し，人と物の動きが活発となり，資本主義の成立や発展を支えていたことを理解している。 ②社会主義の考え方が生まれた理由について，資本主義社会における資本家と労働者の関係に着目して考察し，適切に表現している。
2年3学期	**4 欧米諸国の近代国家建設** **◎アメリカ・ドイツ・ロシアでは，それぞれどのように近代国家の建設を進めたのだろうか。**	産業革命やフランス革命の影響を受けて，アメリカやドイツ，ロシアではどのような国づくりが行われたか，地図や絵画資料などをもとに読み取る。	・アメリカでは，領土の拡大とともに，東部と西部を結ぶ鉄道が発達し，工業がめざましく発展していったことに気付かせる。 ・明治維新のころ，ヨーロッパではドイツが統一され，立憲君主政のもとで工業化を進め，世界進出を目指すようになった一方，ロシアではまだ皇帝による専制政治のもとでの近代化が行われていたことに気付かせる。	①南北戦争期のアメリカ南部と北部の産業の特色の違いを表などにまとめ，お互いが争うようになった理由を読み取って適切に理解している。 ②アメリカ，ドイツ，ロシアで近代国家が建設されるなかで，それぞれどのような課題が残されたか，人種差別や政治の体制などに着目して考察し，適切に表現している。
2年3学期	**5 世界進出を目指す欧米諸国** **◎欧米諸国は，なぜ世界各地に植民地を広げていったのだろうか。** **◇節の問いを振り返ろう◇** **各地域で「近代化」はどのように展開したのか，イギリス・フランス・アメリカのそれぞれの地域ごとに説明してみよう。**	欧米諸国は，どのようにして世界へ進出したいったのか，イギリスとインドなどの関係を事例として，地図や資料から読み取ったり考えたりする。 ◇市民革命と産業革命による社会の変化，市場や植民地を求めての世界進出に着目して考えさせる。	・地図をもとにして，イギリスがアジア進出を進めるうえで，インドを拠点としていたこと，南下政策をとるロシアとの争いが激しくなっていくこと，日本は両者の勢力がぶつかり合う位置にあったことに気付かせる。	①工業化を進める欧米諸国が世界各地へ進出した理由と，イギリスが「世界の工場」とよばれ，ほかのヨーロッパ諸国と比べて優位にたった理由を理解している。 ②欧米諸国がつくった経済のしくみや植民地支配が，アジア・アフリカに与えた影響について考察し，当時だけでなく現在まで続く問題にもつながっていることを適切に表現している。
第2節　開国と幕府の終わり **◇節の問い◇　欧米諸国が来航するなかで，人々はどのような対応をしていったのだろうか。**		＜「欧米における近代社会の成立とアジア諸国の動き」を扱うこの単元のねらい＞ ○欧米諸国のアジア進出と関連づけて取り扱い，アヘン戦争後に幕府が対外政策を転換して開国したことと，その政治的および社会的な影響を理解させ，それが明治維新の動きを生み出したことに気付かせる。		**＜「欧米における近代社会の成立とアジア諸国の動き」を扱うこの単元の評価規準＞** ①欧米諸国のアジア進出による中国の動き，日本の開国と貿易の開始による政治的，経済的，社会的な影響を理解しているとともに，諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。 ②工業化の進展と政治や社会の変化に着目して，欧米諸国の市場や原料供給地を求めたアジアへの進出が，日本の政治や社会に与えた影響を考察するなど，事象を相互に関連付けるなどして，近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現している。 ③欧米における近代社会の成立とアジア諸国の動きについて，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
2年2学期	**1 日本を取り巻く世界情勢の変化** **◎「近代化」を進める欧米諸国の来航は，東アジアにどのような影響を与えたのだろうか。**	世界情勢の変化は，江戸時代の日本にどのような影響を与えたのか，外国船の来航と幕府の対応，アヘン戦争とその影響などを法令や地図などの資料をもとに考える。	・外国船が来航した背景について，前節で学んだことを復習しておく。 ・異国船打払令を批判した蘭学者を幕府が処罰していたことに気付かせる。 ・幕府の命による蝦夷地の調査や高杉晋作による奇兵隊の創設など，外国の侵略に備える動きが広がっていたことに気付かせる。	①植民地を求めてアジアやアフリカなどに進出する欧米諸国の動きが，やがて江戸時代の日本にも及び，幕府が許可しているオランダ以外の国々の船が日本の周辺に現われるようになっても，引き続き外国船を追い払う方針を変えなかったことを理解している。 ①南京条約で決まったことがらをまとめて，小学校のときに学んだ，日本が開国してアメリカと結んだ条約との共通点に気づき，南京条約の意味を理解している。 ②異国船打払令から薪水給与令へと幕府の政策が変化した理由について，アヘン戦争の影響をふまえて考察し，適切に表現している。
2年3学期	**2 諸藩の改革と幕府の衰退** **◎飢きんや財政の悪化に対して，諸藩や幕府はどのような改革を行ったのだろうか。**	飢きんや財政の悪化に対して，諸藩や幕府は，どのような改革を行ったのか，資料などから読み取り，表などにまとめる。	・当時，身近な地域を支配していた領主は，どのような政治改革を行ったのか，調べさせておき，簡単に説明させる。 ・新しい生産のしくみや専売制など，藩による財政立て直しの方法に着目させる。 ・諸藩の改革が，幕末の政治や明治期に日本で近代産業が発展する基盤になったことに気付かせる。	①大塩平八郎は幕府のどのような態度を批判したのか，幕府は大塩平八郎が起こした反乱になぜ大きな衝撃を受けたのかを文章から読み取って理解している。 ②藩や幕府の改革の内容をふまえ，改革に成功した藩の政策の共通点と幕府の政策が失敗した理由について考察し，適切に表現している。

2年3学期	**3 黒船来航の衝撃と開国** **◎ペリーらの来航は，日本にどのような影響を与えたのだろうか。**	ペリーらの来航により，日本ではどのような変化が起こったのか，資料などから読み取り，経緯を流れ図にまとめる。	・幕府の威信（権威）が大きく揺らいだきっかけとして，天保の改革の失敗，開国の決定に際し，初めて諸大名や下級の幕臣などに意見を求めたこと，朝廷に報告したこと，大老の井伊直弼が暗殺されたことなどがあることに気付かせる。	①日本とアメリカとの間で結ばれた条約とその内容を表にまとめ，それぞれの課題についても理解している。 ②関税自主権と領事裁判権の意味と日本が抱えた問題点をふまえ，この時期に始まった外国との貿易が日本の経済や社会に与えた影響を考察し，適切に表現している。
2年3学期	**4 江戸幕府の滅亡** **◎江戸幕府はどのようにして倒れていったのだろうか。** **◇節の問いを振り返ろう◇** **武士の政権である江戸幕府が倒れた理由について，社会の変化・諸藩の動き・対外関係の三つの面から説明してみよう。**	武士による政治は，どのように終わりを迎えたのか，戊辰戦争にいたるまでの経緯を資料などから読み取り，流れ図や年表にまとめる。 ◇工場制手工業，諸藩の改革，アヘン戦争前後から開国にいたるまでの動きと幕府の権威の低下に着目して考えさせる。	・長州藩や薩摩藩の動きだけでなく，幕府が低下した権威や威信をどのようにして回復しようとしたのか，幕府の「近代化」政策とは何かという点にも着目させる。	①倒幕を進めた勢力と，その中心となった人物について，流れ図や年表を用いて適切にまとめ，理解している。 ①長州藩と薩摩藩が攘夷から考えを変えた理由について，両者の藩が共通して経験したことなどをもとに理解している。 ②徳川慶喜が大政奉還をしたねらいに注目し，どのような動きによって幕府が倒れていったのかを考察して，適切に表現している。
第3節　明治政府による「近代化」の始まり **◇節の問い◇　明治政府はどのような国づくりを行ったのだろうか。**		＜「明治維新と近代国家の形成」を扱うこの単元のねらい＞ ○明治維新について，複雑な国際情勢の中で独立を保ち，近代国家を形成していった政府や人々の努力に気付かせる。 ○富国強兵・殖産興業政策の下に新政府が行った，廃藩置県，学制・兵制・税制の改革，身分制度の廃止，領土の画定を取りあげ，学制など今日につながる諸制度がつくられたことや，身分制度の廃止にもかかわらず現実には差別が残ったことに気付かせる。 ○欧米諸国から取り入れた制度や文化の影響で，社会のようすや人々の生活が大きく変化したことに気付かせる。		**＜「明治維新と近代国家の形成」を扱うこの単元の評価規準＞** ①富国強兵・殖産興業政策，文明開化の風潮などをもとに，明治維新によって近代国家の基礎が整えられて，人々の生活が大きく変化したことを理解しているとともに，諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。 ②明治政府の諸改革の目的に着目して，諸改革が政治や文化や人々の生活に与えた影響を考察したり，明治維新について，近世の政治や社会との違いに着目して，近世から近代への転換のようすを考察したりするなど，事象を相互に関連付けるなどして，近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現している。 ③明治維新と近代国家の形成について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
2年3学期	**タイムトラベル⑨** **明治時代を眺めてみよう** 1880～90年代ごろのある場面	明治時代のある地方都市のようすをえがいた想像図を見て，江戸時代と比べて，どのような点が変化し，どのような共通点があったのかを読み取り，疑問があれば追究すべき課題（生徒自身の「単元を貫く問い」）を設定する。	・「次の場面を探してみよう！」の課題をもとに，近代化政策によって生まれた大きな社会の変化に着目させる。 ・「集会所に参加した多くの人が求めていたことは何か」「生糸はどこへ運ばれるのか」「農村で見られた変化（桑畑の増加）とは何か」「教会をつくったのはだれか」などの追究課題が考えられる。	①小学校で学んだことをふまえて，明治時代の地方都市と江戸時代までの町との違いについて，建築物や人々の役割，子どもの生活の変化などから適切なことがらを読み取っている。 ②学校教育や徴兵制の導入，近代建築，鉄道の開通，製糸工業による生糸の輸出など，近代化の政策によって見られるようになったさまざまな面の変化や人々の服装・住居などについて，江戸時代と明治時代の共通点や相違点を考察し，写真資料などをもとに適切に表現している。 【章の学習を振り返ろう】(84時限)の「タイムトラベルを眺め直そう！」の活動場面で ②想像図にえがかれているさまざまなことがらとともに，近代前半の時代の特色を自分の言葉で適切に表現している。
2年3学期	**1 新政府による改革** **◎この時期には，どのような政治のしくみや社会の変化があったのだろうか。**	明治維新とは，どのような改革・変化だったのか，新政府がどのような国家をめざしたのかを資料などを読み取りながら考える。	・廃藩置県によって，藩の名称がそのまま県の名称になったところと，それが認められなかったところがあることに気付かせる。 ・近代化を目指す動きと古代の時代の特色との共通点（天皇中心の国づくり）に気付かせる。	①版籍奉還と廃藩置県の内容とそのねらい，廃藩置県を行うことでなぜ中央集権国家とよべるようになるのかを理解している。 ②新政府はなぜ廃藩置県や古い身分制度の廃止を必要としたのか，江戸時代の幕藩体制との違いに着目して考察し，「欧米諸国」「中央集権」などの語を用いて適切に表現している。
2年3学期	**2 富国強兵を目指して** **◎日本を欧米諸国に劣らない強い国にするため，どのような政策が行われたのだろうか。**	日本を欧米諸国に劣らない強い国にするために，どのような政策が行われたのか，新政府が行った殖産興業政策，兵制・税制の改革を中心に資料などから読み取る。	・それぞれ基本的な絵画資料や統計資料，さらに地券については実物資料や写真を見せて，具体的に理解できるようにする。 ・徴兵令に反対する人々や地租改正後にも負担が変わず不満が残った農民がいたことなど，改革は順調に進んでいったわけではないことに気付かせる。	①「富国」のために行われた政策（殖産興業，地租改正，学制）と，「強兵」（殖産興業，徴兵令，学制）のために行われた政策を表に整理するなど適切にまとめ，理解している。 ②富国強兵の政策（殖産興業，徴兵令，地租改正，学制）の中から一つ選び，その政策が社会に与えた影響について具体的な資料などにもとづいて考察し，適切に表現している。

2年3学期	**3 文明開化と新政府の政策** **◎新政府が進めた新しい政策や欧米の文化を，人々はどのように受け止めたのだろうか。** **◇節の問いを振り返ろう◇** **日本の「近代国家」の建設に向けて，明治政府はどのような政策を行ったのか，欧米の近代化の推移を踏まえて説明してみよう。** **歴史を探ろう** 世界に開かれた港　横浜	新しい政策や欧米の文化は，人々の生活にどのような影響を与えたのか，絵画資料などから読み取ったり考えたりする。 ◇「富国強兵」をスローガンとして実施された諸政策の意味や意義に着目して考えさせる。	・絵画資料をもとにして，文明開化によって人々の生活がどのように変化したか，具体的に考えさせる。 ・都市と農村を比べると，農村では文明開化の文化や生活スタイルがすぐには変化しなかった理由があることに気付かせる。	①日本に取り入れられた欧米の文化や生活様式を，絵画資料や文章をもとに具体的に理解している。 ②政府の新しい政策のうち，学制，徴兵令，地租改正について，国民から強い抵抗があった理由を考察し，適切に表現している。
第4節　近代国家への歩み **◇節の問い◇　日本の「近代国家」の建設は，どのようになされたのだろうか。**		＜「議会政治の始まりと国際社会との関わり」を扱うこの単元のねらい＞ 〇自由民権運動の全国的な広まり，政党の結成，憲法の制定過程とその内容の特徴を取り上げ，大日本帝国憲法の制定によって当時アジアで唯一の立憲制の国家が成立したことをふまえ，立憲制の国家が成立して議会政治が始まったことの歴史上の意義や現代の政治とのつながりに気付かせる。		**＜「議会政治の始まりと国際社会との関わり」を扱うこの単元の評価規準＞** ①自由民権運動，大日本帝国憲法の制定をもとに，立憲制の国家が成立して議会政治が始まるとともに，日本の国際的な地位が向上したことを理解しているとともに，諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。 ②議会政治や政治の展開に着目して，世界との関係や，現代の政治とのつながりを考察するなど，事象を相互に関連付けるなどして，近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現している。 ③議会政治の始まりについて，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
2年2学期	**1 新たな外交と国境の画定** **◎新政府はどのような外交政策を進めていったのだろうか。**	新政府は，どのような外交政策を進めたのか，欧米諸国とアジアに対する方針の違いにも着目しながら，地図や資料などから読み取ったり考えたりする。	・欧米諸国，中国，朝鮮，ロシアとの関係性にそれぞれどのような違いがあるかに注目させ，それがなぜかを考えさせる。 ・西郷隆盛と大久保利通の考え方の違いに気付かせる。	①新政府が1870年代に結んだ条約とその内容について，表などにまとめて整理し，新政府が国境を画定していった理由を近代国家の特徴をふまえて理解している。 ①日本地図の上に明治時代の国境を書き入れて，現在の国境とどこが違っているかを適切に示している。 ②新政府が中国・朝鮮と結んだ条約の違いについて，欧米諸国と日本の関係との共通点にふれながら考察し，「領事裁判権」という語を用いて適切に表現している。
2年3学期	**2 沖縄・北海道と「近代化」の波** **◎新政府は沖縄や北海道に対してどのような政策を進めていったのだろうか。** **歴史を探ろう** 移住と開拓が進む北海道	新政府は沖縄や北海道に対してどのような政策を進めていったのか，地図や資料などから読み取ったり考えたりする。	・琉球が日本領に組み入れられる経緯の中に，新政府による台湾や琉球への軍事的な圧力があったことに気付かせる。 ・沖縄やアイヌの人々の立場から，新政府の政策の問題点を指摘させる。	①新政府が北海道の本格的な統治と開拓を進めた理由を，具体的な政策の内容とともに理解している。 ②新政府が行った政策によって，琉球とアイヌの人々の生活がどのように変化したかを考察し，「日本国民」などの語を用いて適切に表現している。
2年3学期	**3 自由と民権を求めて** **◎新政府の政策を批判していた人々は，どのような活動を行ったのだろうか。**	人々は意見を政治に反映させるために，どのような活動を展開したのか，地図や地域史の資料などから読み取る。	・植木枝盛や中江兆民によるフランスの人権思想の紹介が，自由民権運動に大きな影響を与えていたことに気付かせる。 ・政府と自由民権運動の対立の結果，国会開設や憲法制定が約束された経緯に気付かせる。	①自由民権運動で要求されたことを読み取り，自由と民権を獲得するためには，どのような準備が必要であったか（国会開設，政党の活動）を理解している。 ①板垣退助など自由民権運動の活動家たちが，国会開設の過程においてそれぞれどのような行動をとったのかを読み取り，理解している。 ②藩閥政府と自由民権運動の目標が共通していた（立憲政治を行うこと）にもかかわらず，対立する関係になった理由（政府は急進的な国会開設を望まなかった）を考察して，適切に表現している。

2年3学期	**4 帝国憲法の成果と課題** ◎大日本帝国憲法はどのような特色があり，その下でどのような国のしくみが作られたのだろうか。 ◇節の問いを振り返ろう◇ なぜ明治政府は，国境を画定し，憲法を作ったのか，欧米の近代国家の建設の過程も踏まえて説明してみよう。	大日本帝国憲法や帝国議会にはどのような特色があるのか，条文を読んだり選挙のようすを調べたりしながら，その特色を考える。 ◇不平等条約の改正を欧米諸国に認めさせるという目標を明治政府がもっていたことをふまえ，近代国家を成立させるためのさまざまな条件に着目して考えさせる。	・主権者教育の観点から，詳細な知識は求めないものの，大日本帝国憲法や帝国議会，選挙が現在の憲法や国会，選挙とどのような点で違っているかにも着目させる。	①大日本帝国憲法における天皇・国民についてのあり方を，条文などから適切に読み取り，理解している。 ①帝国議会や選挙のしくみの主な点（主権が天皇にあること，男性の一部にしか選挙権がなかったことなど）について，現在との違いを理解している。 ②大日本帝国憲法の制定によって，国民にどのような成果と課題（さまざまな自由が認められ，国民の政治参加も可能になったが，制限があったこと）があったかを考察し，具体的な内容をふまえて適切に表現している。
2年3学期	**多面的・多角的に考えてみよう** 『三酔人経綸問答』を考察する	1880年代までの世界情勢をふまえて，日本が他国とどのように付き合うべきかを考え，さまざまな主張に対する自分なりの意見を発表する。	・『三酔人経綸問答』に登場する三人の主張を「アジア寄りか欧米寄りか」「武力を放棄するか重視するか」という観点で整理した上で，それぞれの内容と主張の根拠を表にまとめる。 ・三人の主張に対して，当時の視点からか，現在の視点からかを明確にして，自分なりの批判を発表させる。	①資料をもとにして，当時の世界各地の様子をふまえ，ヨーロッパの国々の侵略を受けない国にするために，日本はどのような手段をとることができるか，それはなぜかを理解している。 ②日本がとるべき外国との関係の主張とその根拠を参考にして，当時の視点に立って，日本がとるべき立場を選択したり新たな主張を考えたりし，根拠を明確にして適切に説明している。
第5節　帝国主義と日本 ◇節の問い◇「近代国家」日本は，世界でどのような動きをしていったのだろうか。		**＜「議会政治の始まりと国際社会との関わり」を扱うこの単元のねらい＞** ○国内の社会状況や国際情勢とのかかわりなどの背景をふまえて，欧米諸国と対等の外交関係を樹立するための長年の努力の過程で条約改正が実現したことを理解させる。 ○大陸との関係をふまえて，日清・日露戦争にいたるまでの日本の動き，戦争のあらましと国内外の反応，韓国の植民地化などを取り上げ，日本の国際的地位が向上したことを理解させる。		**＜「議会政治の始まりと国際社会との関わり」を扱うこの単元の評価規準＞** ①条約改正，日清・日露戦争などをもとに，日本の国際的な地位が向上したことを理解しているとともに，諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。 ②外交や戦争の展開に着目して，世界との関係や現代の政治とのつながりを考察するなど，事象を相互に関連付けるなどして，近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現している。 ③国際社会との関わりについて，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
2年3学期	**1 アジアの列強を目指して** ◎明治政府は条約改正に向けて，どのような取り組みを行ったのだろうか。	帝国主義とはどのような動きや考え方か，長年の条約改正への努力のねらいとは何か，なぜ条約改正の一部が実現したのかについて，当時の国際関係などをふまえながら，地図や資料から読み取る。	・地図や風刺絵を活用して，イギリスが日本とどのような関係を結ぼうとしたかに気付かせる。 ・欧米諸国との対等な関係を求めるための政策の中には，国民からの批判を受けるようなものもあったことに気付かせる。	①帝国主義とはどのような動きや考え方かを文章から読み取り，理解している。 ②領事裁判権の撤廃に成功した理由について，明治政府の国内での取り組みと世界情勢をふまえて考察し，条約改正に向けての外交努力や世論の高まり，ロシアの南下を警戒するイギリスとの関係をもとにして，適切に表現している。
2年3学期	**2 朝鮮をめぐる対立　日清戦争** ◎日本と中国との間でどのような対立があり，その結果はどのようになったのだろうか。	日本と中国との間でどのような対立があり，戦争の結果，日本と中国はそれぞれどのようになったのか，風刺絵の資料や地図などを活用しながら流れ図でまとめる。	・地図をもとに日清戦争の主な戦いは朝鮮半島と遼東半島で起こっていたこと，戦争後，欧米列強が清に進出していったことに気付かせる。 ・三国干渉が，日露戦争が起こる背景の一つになっていたことに気付かせる。	①日清戦争開始のきっかけとなったできごと，戦争の結果（下関条約の内容）や三国干渉後の朝鮮の状況までを，流れ図を用いて適切にまとめ，理解している。 ②日清戦争によって，日本・中国・朝鮮のアジアでの立場がどのように変わったのかをさまざまな面から考察し，欧米列強との関係もふまえて適切に表現している。
2年3学期	**3 世界が注目した日露戦争** ◎日本とロシアとの間でどのような対立があり，その結果はどのようになったのだろうか。	日本とロシアとの間でどのような対立があり，その結果はどうなったのか，風刺絵の資料や地図などを活用しながら関係図でまとめる。	・戦争の背景や経過，結果をまとめるときに，日本とロシアだけでなく，イギリスやアメリカ，清や韓国との関係もふくめて考えやすくするため，関係図で示す方法が有効的であることを示す。 ・日露戦争後に日本が関税自主権を完全に回復し，条約改正がすべて達成されたことの意味を考えさせる。	①日本とロシアが対立した背景について，「満州」（中国東北部）やイギリスもふくめた関係図を用いて，適切にまとめ，理解している。 ①ポーツマス条約で決まったことによって，日比谷焼き打ち事件などの暴動が起こった理由（賠償金が得られなかったこと）を理解している。 ②日露戦争によって，日本と外国との関係がどのように変わったのかをさまざまな面から考察し，アメリカとロシア，韓国との関係について適切に表現している。

2年3学期	**4 塗り替えられたアジアの地図** **◎日清・日露戦争の後，朝鮮・中国ではどのような変化が見られたのだろうか。** **◇節の問いを振り返ろう◇** **日清・日露戦争前後の日本の，中国・朝鮮との関わりの推移をまとめ，日本のアジアでの立場はどのように変化したか説明してみよう。**	日清・日露戦争後のアジアの人々の意識の変化，韓国や満洲における日本の政策，中華民国の成立の経緯について，資料などから読み取る。 ◇条約の具体的な内容やアジアの人々からの視点に着目させて，日本の立場の変化を考えさせる。	・韓国をはじめたとしたアジアの人々が日本に対してどのような感情をいだくようになったかについて，資料を読ませて自由に予想を述べさせる。 ・地図帳で長春，旅順，大連，武漢，南京などの都市の位置を地図帳で確認させる。	①日本と韓国の関係の変化について，日露戦争後から韓国併合とその後の日本の植民地政策までを整理し，流れ図などを用いて適切にまとめ，理解している。 ①日露戦争後に中国で起こった辛亥革命によって皇帝による政治が終わったことや，アジア初の共和国である中華民国が成立したことを文章から読み取り，理解している。 ②日本でのアジアでの立場が日清・日露戦争後にどのように変わったのかをさまざまな面から考察し，アジア諸国の立場から考えられること（日本が帝国主義国としての動きを活発にしたこと）にもふれて，適切に表現している。
第6節　アジアの強国の光と影 **◇節の問い◇「近代化」によって，日本の産業や社会はどのように変化したのだろうか。**		＜「近代産業の発達と近代文化の形成」を扱うこの単元のねらい＞ 〇富国強兵・殖産興業政策の下，製糸業，紡績業や鉄鋼業などの近代産業が日清戦争前後から飛躍的に発展して，資本主義経済の基礎がかたまったこと，都市や農山漁村の生活に大きな変化が生じたことに気付かせる。 〇近代化遺産を取り上げるなど，身近な地域を例としながら，鉄道網の広がりや工業の発達などによって人々の生活の変化がみられた一方で，労働問題や社会問題が発生したことに気付かせる。 〇伝統的な文化の上に欧米文化を受容して，日本の近代文化が形成されたことに気付かせる。		**＜「近代産業の発達と近代文化の形成」を扱うこの単元の評価規準＞** ①日本の産業革命とこの時期の国民生活の変化，学問・教育・科学・芸術の発展などをもとに，日本で近代産業が発達し，近代文化が形成されたことを理解しているとともに，諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。 ②近代化がもたらした文化への影響に着目して，産業の発展が国民生活や文化に与えた影響を考察するなど，事象を相互に関連付けるなどして，近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現している。 ③近代産業の発達と近代文化の形成について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
2年3学期	**1 近代日本を支えた糸と鉄** **◎日本の軽工業や重工業は，どのように発展していったのだろうか。** **歴史を探ろう** 「絹の道」と日本の製糸業	日本の軽工業や重工業はどのように発展していったのか，地図やグラフなどの資料から読み取る。	・「糸で軍艦を買う」というはどういう意味かを考えさせる。 ・鉄道と工場の位置との関係に注目させ，教科書p. 201の②「日本の製糸業はどのように発展したのかな？」を読ませて，現在と当時の鉄道の主な役割の違い（貨物輸送がさかんだったこと）に気付かせる。	①近代日本の工業化について，軽工業と重工業に分け，それぞれの工業製品を示しながら，表などで適切にまとめ，理解している。 ②軽工業と重工業の発展によって，日本の経済と産業はどのように変わったか，貿易上の地位の向上や軍需産業に力が入れられたこと，財閥の登場などに着目して考察し，適切に表現している。
2年3学期	**2 変わる都市と農村** **◎工業化の進展は，人々の生活にどのような影響を与えたのだろうか。**	工業化が進むなかで，農村や都市での人々の生活はどのように変化したのか，資料などから読み取り，その理由を考える。	・日本の工業化にともなう社会の変化を農村の状況や労働問題をもとに考えさせる。 ・足尾銅山の鉱毒事件を例に，環境問題が起こったことにも気付かせる。	①農村で小作人になる農民が増えた理由や，海外に移住する人々が増えた理由について，当時の社会的な背景をもとに理解している。 ①社会問題が起こった背景として労働者の労働条件に関する問題があったことや，社会主義の運動が始まったことを理解している。 ②工業化の進展によって農村の生活がどのように変化したか，イラストの資料などをもとに「光」と「陰」の両面から考察し，適切に表現している。
2年3学期	**3 欧米の影響を受けた近代文化** **◎明治時代には，どのような特色を持った文化が展開したのだろうか。** **◇節の問いを振り返ろう◇** **産業革命によって，日本の産業や社会はどのように変化したか，軽工業の発達と農村の変化を例にして説明してみよう。**	明治時代になって，人々の生活や文化はどのように変化したのか，文化を生み出した担い手の考えを中心に調べてまとめる。 ◇歴史を探ろう（「絹の道」と日本の製糸業）を参考に，重要な輸出品であった生糸の生産を農村が支えたり，輸送のために鉄道が敷設されたりしたことに着目して考えさせる。	・新しい日本画を西洋画と比べさせ，絵画の世界でも欧米文化が受け入れられていったことに気付かせる。	①日本の伝統文化や欧米文化に関わった人物に着目し，美術などの発展において，どのような動きがあったかを調べて適切にまとめ，理解している。 ②学校生活で身につけられる能力や習慣などに着目して，「近代化」のために学校教育が果たした役割を考察し，「国民」「標準語」という語を用いて適切に表現している。
2年3学期	**章の学習を振り返ろう** **近代国家の歩みと国際社会** **■章の問い■「近代化」による，政治や社会の大きな変化とは何か。**	日本の「近代化」を経済や産業，政治や制度，文化や生活，国際社会という４つの観点ごとに評価し，最も重視したい観点を選んでその理由を説明する。 近代前半とはどのような時代か，自分の言葉で表現したり，意見交換を行ったりする。	・総合判定をその理由とともに発表し合った後，評価が異なる人との意見交換を重視させ，自分の理由に追加させたり修正させたりする。 ・近代後半とはどのような時代か，まずは短い言葉で特色を表現させ，歴史的な見方・考え方（時代や年代，推移，比較，相互の関連）を働かせて，そのように表現できる理由を説明させる。	①章の学習を振り返り，日本の近代化を観点ごとに評価し，歴史的な見方・考え方を働かせて，重視する観点を選んで総合判定を行い，効果的にまとめている。 ②「近代化」を観点ごとに評価する活動などを通して，近代前半の日本と世界を大観し，時代の特色を多面的・多角的に考察し，適切に表現している。 ③近代の国家づくりについて，現代のあり方と比較するなどして，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。